

令和4年8月31日

学校法人 実学舎
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校
学校関係者評価委員会

令和3年度についての学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会を令和4年8月22日、本校にて実施しました。その結果を下記のとおりご報告いたします。

記

1. 開催日時

・令和4年8月22日（月） 16時00分～16時45分

2. 場所

・本校 205 講義室

3. 出席委員と本校からの出席者

出席委員：

斉藤 等 （株式会社アイネット 管理部 部長）

榎谷 都由 （イシイ株式会社 マーケティング部 取締役）

小林 均 （株式会社太洋社印刷所 総務部 部長）

発知 絵理香 （株式会社ソフタス 総務部 責任者）

関 隆司 （医療法人明浩会 西大宮病院 医療事務部 部長）

高野 和美 （父母等）

和田 拓也 （父母等）

本校からの出席者：

永嶋 龍次（理事長）、坂本 健司（副理事長）、前川 一也（校長）、高野 庸夫（副校長）、深野 敦史（教務部長）、大木 健一（教務部長代理）

4. 学校関係者評価委員会次第

- ① 開会
- ② 理事長挨拶
- ③ 議長選任
- ④ 自己点検・評価結果の説明（校長）

⑤ 委員による評価および意見交換

⑥ 閉会

5. 自己点検・評価結果の説明（校長）

別紙「令和3年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに、その結果について説明しました。

6. 委員による評価および意見

別紙「令和3年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに評価を行い、その内容は概ね良好であると結論づけました。なお、委員による評価および意見は下記のとおりです。

●委員による評価

※評価は5段階（未達成、不十分、普通、ほぼ達成、達成）で実施しています。

1.教育理念・目的・育成人材像等		評価
評価項目	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	達成
	1-2 学校の特色はなにか	達成
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	達成
2.学校運営		
評価項目	2-4 運営方針は定められているか	達成
	2-5 事業計画は定められているか	達成
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	達成
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	達成
	2-8 意思決定システムは確立されているか	達成
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	達成
3.教育活動		
	3-10 各教科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか	達成

評価項目	3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構築する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	達成
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	達成
	3-13 学科の各教科は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	達成
	3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	達成
	3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	達成
	3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	達成
	3-17 資格取得の指導体制はあるか	達成
4.教育成果		
評価項目	4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	普通
	4-19 資格取得率の向上が図られているか	達成
	4-20 退学率の低減が図られているか	達成
	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	達成
5.学生支援		
評価項目	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能しているか	達成
	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	達成
	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	未達成
	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	普通
	5-28 保護者と適切に連携しているか	達成

	5-29 卒業生への支援体制はあるか	ほぼ達成
6.教育環境		
評価項目	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備できているか	達成
	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ達成
	6-32 防災に対する体制は整備されているか	達成
7.学生の募集と受け入れ		
評価項目	7-33 学生募集活動は、適正に行われているか	達成
	7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	達成
	7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	達成
	7-36 学納金は妥当なものとなっているか	達成
8.財務		
評価項目	8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	達成
	8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	達成
	8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか	達成
	8-40 財務情報公開の体制整備はできているか	達成
9.法令等の遵守		
評価項目	9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	達成
	9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	達成
	9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	達成
	9-44 自己点検・自己評価結果を公開しているか	達成
10.社会貢献		

評価項目	10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	未達成
	10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	普通

●委員からの意見

- ・専門力を向上させるために、インターシップを実施することは有効である。インターシップに対して、どのように取り組んでいるのか。
- ・医療事務科では、病院実習を実施している。その他の学科では、一部の学生が実施している。(本校)
- ・就職率が前年度より低下した理由は何か。
- ・コロナによる環境悪化と本校の学生数増加が原因と考えている。その中でも、就職率を向上させるよう努力していきたい。(本校)
- ・2年連続未達成になっている 5-26 課外活動と 10-45 社会貢献は、評価が必要な項目なのか。
- ・各校が参考にしてしている評価基準に含まれている項目のため、学校自己点検・評価報告書に入れている。(本校)
- ・全体的な評価はよいと思う。就職率の低下への対応として、今年度はどのような対策を考えているのか。
- ・就職率を向上させることは重要である。コロナ前の状況に戻りつつある中、今年度は改善するよう努めたい。(本校)
- ・キャリア支援センターの教員が経験を積むことにより、さらに就職率が向上すると考えている。(本校)
- ・ITに関する専門学校が、さいたま市に来年度開校される。この学校のホームページは、動画に勢いがあるなどレベルが高い。どのように対応するのか。
- ・本校の特徴である高校との繋がりを重視するなどの対応を考えている。また、ホームページの作成に関しては、本校なりに工夫して対応したい。(本校)
- ・本校では、学生一人一人を大切に学生を教育している。本校に相応しい方法で地道に努力したいと考えている。(本校)
- ・今の学生は、昔の学生と違い、SNS 環境の中で育ち、挨拶やコミュニケーションができない。これを改善するために、どのようなことを考えているのか。
- ・学生の気質が様々である中、コミュニケーション力は重要なので、学生を指導できるよう、協力をお願いしたい。(本校)
- ・このような委員会を実施していることは評価できる。本人は順調に学校生活を過ごしており、今後は就職できることを期待している。

- ・退学者の状況はどうか。
- ・学年担任が日常的に学生を指導しており、退学率の低減に努めている。(本校)
- ・卒業生に対して、どのような支援を実施しているのか。
- ・本校の求人票の開示や個別相談などの支援を実施している。(本校)
- ・外部から見た本校に対する意見を取り入れ、学校を改善していきたい。そのために、今後も意見をお願いしたい。(本校)
- ・成人年齢が18歳になったことも考慮し、学生を大人として扱っている。また、凡事徹底の方針で、簡単なことでも確実にできるよう指導している。今後も協力をお願いしたい。(本校)
- ・昨今の学生は、まじめだが自主性が乏しい。そのような学生に対し、今後でもできることを精一杯実施したいと考えている。様々な意見をお願いしたい。(本校)
- ・コミュニケーション力を向上させるため、プログラミングの授業において、学生同士で教えあうことを実施している。今後も委員からの意見を参考に、授業を改善したいと考えている。(本校)

以上